

丸の内 / 東京国際フォーラム

有楽町駅 ↑ 有長町線 ↓ 池袋駅

会場の東京国際フォーラムと東京芸術劇場は離れたエリアにありますので、両エリア間の移動時間には余裕を持ってお越しください。

会場 / 東京芸術劇場

楽器・パート略号

p=ピアノ	g=ギター	ob=オーボエ	s=ソプラノ
vi=ヴァイオリン	hp=ハープ	hr=ホルン	br=バリトン
va=ヴィオラ	fl=フルート	fg=ファゴット	
vc=チェロ	cl=クラリネット	tp=トランペット	

- 凡例
- 公演番号
 - チケット料金
 - 公演タイトル

- 4) 入場可能な年齢
 - 0歳以上入場可
 - 3歳以上入場可
 - 6歳以上入場可
 - 18歳以上入場可
- 5) 小学校低学年以上のお子さまと聴くのにオススメの公演
 - 「ホールA1日バスポート券」対象公演

① **M 311** 10:15-11:00 (45')

② **ticket** S¥3,000 A¥2,500 B¥1,500

③ **3+** ドーナウから黒海へ

④ **PASS**

⑤ **3+** クルージュ・トランシルヴァニア・フィルハーモニー管弦楽団

⑥ **6+** カスバル・ゼンダー (指揮)

⑦ **6+** プラムス・ハンガリー舞曲第1、4、5番

⑧ **6+** パルトーク・ハンガリー舞曲

⑨ **6+** エネスコ・ルーマニア狂詩曲第2番

⑩ **6+** エネスコ・ルーマニア狂詩曲第1番

⑪ **6+** エネスコが異郷パリで書いた名曲を中心に、ドイツ、ハンガリー、ルーマニアを流れるドナウ川に身を任せて。

ホール A <トーマス・マン> 5008席

Pコード 597-801
Lコード 36231

ホール B7 <クンデラ> 822席

Pコード 597-802
Lコード 36232

ホール B5 <ツヴァイク> 256席

Pコード 597-803
Lコード 36233

ホール C <ナボコフ> 1492席

Pコード 597-804
Lコード 36234

ホール D7 <ネルーダ> 221席

Pコード 597-805
Lコード 36235

G409 <デスノス> 153席

Pコード 597-806
Lコード 36236

詳しい内容や最新情報は公式サイトへスマートフォンでもご覧いただけます。

www.lfj.jp

9:30

10:00

M 311 10:15-11:00 (45')

ticket S¥3,000 A¥2,500 B¥1,500

3+ PASS

「ドナウから黒海へ」

クルージュ・トランシルヴァニア・フィルハーモニー管弦楽団
カスバル・ゼンダー (指揮)

プラムス・ハンガリー舞曲第1、4、5番
パルトーク・ハンガリー舞曲
エネスコ・ルーマニア狂詩曲第2番
エネスコ・ルーマニア狂詩曲第1番

エネスコが異郷パリで書いた名曲を中心に、ドイツ、ハンガリー、ルーマニアを流れるドナウ川に身を任せて。

M 321 10:00-10:45 (45')

ticket 指定席¥2,800

3+

エカテリンブルク・フィルハーモニー合唱団
バヴェル・ペトレスコ (指揮)

ラフマニノフ:「晩祷」op.37から抜粋、シュニョケ:「3つの聖なる歌」から、ペルト:「アヴェ・マリア、アルハンゲルスキー:最後の審判を待ちながら、チェスノコフ:ロシア正教典礼礼. Op. 40から、スヴィリードフ:「ア・シキンの花輪」から、ヴラモフ:What for should I cry?.ラフマニノフ/A.ペトレスコ:ぜんまいじかけのお人形のイタリアンポルカ、ロシア民謡

ロシア帝国の消滅、ソ連の誕生……時代に翻弄された作曲家たちとロシア音楽の伝統に迫る稀有なプログラム。

M 331 10:30-11:15 (45')

ticket 指定席¥2,600

3+

モディリアーニ弦楽四重奏団

ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲第12番 へ長調 op.96「アメリカ」
ドホナーニ:弦楽四重奏曲第3番 イ短調 op.33

ナチスに追われアメリカに亡命したハンガリー人ドホナーニの作品と、ドヴォルザークのアメリカ滞在の成果を。

M 341 10:30-11:15 (45')

ticket S¥3,000 A¥2,500

3+

荘村清志 (g)、
新日本フィルハーモニー交響楽団
バスカル・ロフェ (指揮)

ロドリゴ:アランフェス協奏曲
フジャ・バシエ音楽「三角帽子」第2組曲
ロドリゴが疎開先パリで書いた協奏曲。スペイン内戦の被害を受けた古都アランフェスに思いをはせている。

M 351 10:00-10:45 (45')

ticket 指定席¥2,600

3+

「キッズのためのシネマ・コンサート」
〜『チャップリンの移民』〜

ポール・レイ (ジャズ・ピアノ)

フランスの俊英がチャップリンの名画に挑む!レイ書き下ろしの前奏曲「チャップリンの世界」の演奏つき。昔のニューヨークにタイムトリップ!有名映画とフランスのジャズ・ピアニストの華麗な演奏を同時に楽しもう!

M 361 10:00-10:45 (45')

ticket 指定席¥2,400

3+

レミ・ジュニエ (p)
プロコフィエフ:ピアノソナタ第8番 変ロ長調 op.84
ストラヴィンスキー:「ペトルーシュカ」からの3楽章

諸国遍歴ののちにソ連に戻ったプロコフィエフと、二度の亡命を経験した世界人ストラヴィンスキーを聴く。

11:00

M 312 12:15-13:00 (45')

ticket S¥3,000 A¥2,500 B¥1,500

3+ PASS

ボリス・ベレゾフスキー (p)

ウラル・フィルハーモニー管弦楽団
ドミトリー・リス (指揮)

ドヴォルザーク:交響曲第7番 ホ短調 op.95「新世界より」から 第4楽章
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第4番 ト短調 op.40

ソ連を脱出後はもっぱら演奏家として活動していたラフマニノフが、亡命先アメリカで発表した「復帰作」。

M 322 12:00-12:45 (45')

ticket 指定席¥2,800

3+

バヴェル・シュポルトツル (vi)
ジブシー・ウェイ (伝統ロマ音楽)

プラムス・ハンガリー舞曲 第5番
サラサーテ:ツイゴイネルヴィゼン
プーランジェ:わが祈り

シュポルトツル:ヤノス・ビハリに捧ぐ〜ジブシー・ファイヤー、トランシルヴァニア幻想曲、チーネ・ツォーハ
バババ:カプリス・ツイガース

流浪の民口マの音楽世界へ、ビハリは口マのヴァイオリンの名手で、ベートーヴェンやリストに影響を与えた。

M 332 12:15-13:00 (45')

ticket 指定席¥2,600

3+

「中世の伝統歌 I」

アンサンブル・オブシテイエヌ
エマニュエル・ボナルド (リーダー)

人はいつの時代も故郷を思い歌う。民俗音楽や中世の美術を参照し再現された楽器は一見一聴の価値あり!

M 342 12:15-13:00 (45')

ticket S¥3,000 A¥2,500

3+

山根一仁 (vi)
新日本フィルハーモニー交響楽団
井上道義 (指揮)

伊福部昭:日本狂詩曲/ヴァイオリンと管弦楽のための協奏風狂詩曲
「ゴジラ」の音楽で名高い伊福部は、アジアや西洋の文化と出会いつつ、「日本的」な音楽を独自に追求した。

M 352 11:45-12:30 (45')

ticket 指定席¥2,600

3+

「ロシアの Exile」
アレクサンドル・ギンジン (p)

バイゼツコ:Les Adieux de la Grande Duchesse des Russies (ロシア大公妃の告別)、フィールド:カマリンスカヤ (ロシア民謡)、ヘンゼルト:12の性格的練習曲op.2、ガルツェ:ピアノ・ソナタ第5番八長調、ルリエ:死の過ち、ストラヴィンスキー:「ペトルーシュカ」からの3楽章

ロシアにわたったヨーロッパの作曲家と、ヨーロッパに進出したロシア人作曲家の作品を集めたプログラム。

M 362 11:45-12:30 (45')

ticket 指定席¥2,400

3+

ヤン・ソソウオン (vc)
エンリコ・パーチェ (p)

リスト:忘れられたロマン
リスト:悲しみのゴンドラ
リスト:コンソレーション (慰め) 第5番
ラフマニノフ:チェロ・ソナタ 短調 op.19

自分の故郷は「いたるところ」だと語ったリストは、パリ、ローマ、ヴァイマル等を拠点に各地を旅した。

12:00

M 313 14:15-15:00 (45')

ticket S¥3,000 A¥2,500 B¥1,500

3+ PASS

前橋汀子 (vi)

クルージュ・トランシルヴァニア・フィルハーモニー管弦楽団
カスバル・ゼンダー (指揮)

メンデルスゾーン:「真夏の夜の夢」から 序曲
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

LFJ初登場の前橋は、60年代初頭に単身ソ連にわたり研鑽を積んだ「日本人海外留学生」の先駆者。

M 323 14:00-14:45 (45')

ticket 指定席¥2,800

3+

「Illuminations」
Yom&Quatuor IXI

クレスマン (ユダヤの民衆音楽)クラリネットの第一人者と弦楽四重奏の出会いが生む斬新サウンド!

M 333 14:00-14:45 (45')

ticket 指定席¥2,600

3+

アプテル・ラーマン・エル＝バシヤ (p)

ショパン:即興曲第3番 変ト長調op.51/バラード第4番 へ短調op.52、グラナドス:「コイエスカス」第1部から愛の言葉、エル＝バシヤ:Valse éphémère, Chant andalou (響け!ワルツ、アンダルーの歌)/Marie, ou la mort d'un enfant (マリー、ある子どもの死)/Variations sur un air égyptien, Bacchus (エジプト民謡による変奏曲、バックカス)

自身、レバノンで生まれパリで学んだエル＝バシヤ、パリと関係の深い二人の作曲家の名曲に、自作を添えて。

M 343 14:15-15:00 (45')

ticket S¥3,000 A¥2,500

3+

ロイヤル・ノーザン・シンフォニア
ラルス・フォークト (指揮)

モーツァルト:交響曲第25番 ト短調 K.183
ショスタコヴィチ:室内交響曲 op.110a

祖国ロシアを失い、ソ連に翻弄されたショスタコヴィチ。心の底で自由を希求した作曲家の「真の声」は?

M 353 13:30-14:15 (45')

ticket 指定席¥2,600

3+

タンギー・ド・ヴィリアンクール (p)
ナタエル・ルグアーン (p)

ラフマニノフ:2台のピアノのための組曲 第1番「幻想的絵画」op.5
ラフマニノフ:2台のピアノのための組曲 第2番 op.17

洗練された解釈で魅せるフランス新世代の二人がLFJ初登場。ロシア時代のラフマニノフの息吹を伝える。

M 363 13:30-14:15 (45')

ticket 指定席¥2,400

3+

マリー＝アンジュ・グッチ (p)
ショパン:ロンド 変ホ長調 op.16
ラフマニノフ:練習曲集「音の絵」op.39から 第4、5番
ショパン:スケルツォ第2番 変ロ短調 op.31
ショパン:スケルツォ第3番 変ハ長調 op.39

ルネ・マルタンが「今もっとも注目すべきピアニストとして推す逸材が、亡命作曲家たちの音楽世界に迫る!

13:00

14:00

M 314 16:30-17:15 (45')

ticket S¥3,000 A¥2,500 B¥1,500

3+ PASS

アンドレイ・コロベイニコフ (p)

ウラル・フィルハーモニー管弦楽団
ドミトリー・リス (指揮)

チャイコフスキー:イタリア奇想曲 op.45
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番 八長調 op.26

革命後しばらくは西側とソ連を行き来したプロコフィエフ。第3番は、アメリカで発表された意欲作。

M 324 15:45-16:30 (45')

ticket 指定席¥2,800

3+

マタン・ポラト (p)
モディリアーニ弦楽四重奏団

ドヴォルザーク:ピアノ五重奏曲 イ長調 op.81
ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲第12番 へ長調 op.96「アメリカ」から第2楽章

ニューヨークの音楽院から院長として招かれ、有意義なアメリカ生活を過ごしたドヴォルザークの充実作。

M 334 15:45-16:30 (45')

ticket 指定席¥2,600

3+

アンヌ・ケフェレック (p)

ヘンデル:「獅子のよい鍛冶屋」ホ長調 HWV430 (ハープシコード組曲第5番から)、スカラルラッティ:ソナタ ホ長調 K.531 /ソナタ 短調 K.27 /ソナタ 二長調 K.145 /ソナタ 二短調 K.32、ヘンデル (ケンパ編):メヌエット HWV434 (ハープシコード組曲第1番から)、ヘンデル:シャコンヌ HWV435 (ハープシコード組曲第2番から)

イギリスとスペインで活躍したヘンデルとスカラルラッティは、バロック時代を代表する「移住作曲家」。

M 344 16:00-16:50 (50')

ticket S¥3,000 A¥2,500

3+

ロイヤル・ノーザン・シンフォニア
ラルス・フォークト (p・指揮)

モーツァルト:オペラ(皇帝テイトの慈悲) K.621 から 序曲
ショパン:ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11

のちにパリで亡命者となるショパンが、母国を待つ直前にフルシヤフで自ら初演した「惜別の歌」。

M 354 15:15-16:00 (45')

ticket 指定席¥2,600

3+

吉田誠 (cl)
トリオ・オウオン (ピアノ三重奏)

ストラヴィンスキー:組曲「兵士の物語」
ドヴォルザーク:ピアノ三重奏曲 第4番 ホ短調 op.90「ドゥムキ」

第一次大戦中スイスに身を寄せるストラヴィンスキーが作曲した、先例のない音楽劇をトリオ版で。

M 364 15:15-16:00 (45')

ticket 指定席¥2,400

3+

広瀬悦子 (p)

リャフノフ:12の超絶技巧練習曲 op.11から子守歌、鐘、叙事詩、エオリアン・ハープ、レスギンカ、エレジー〜フランツ・リストを偲んで
ロシア出身のピアニストで作曲家のリャフノフは、リストの孫弟子で、ロシア革命後の晩年をパリで過ごした。

15:00

16:00

M 315 18:30-19:15 (45')

ticket S¥3,000 A¥2,500 B¥1,500

6+ PASS

クルージュ・トランシルヴァニア・フィルハーモニー管弦楽団
カスバル・ゼンダー (指揮)

リムスキー＝コルサコフ:交響組曲「シェラザード」

管弦楽法の大家が描く色彩ゆたかな「アラビアンナイト」の世界。シンドバッドにいざなわれ、いざ出航!

M 325 17:45-18:30 (45')

ticket 指定席¥2,800

3+

「La Route de la Soie」〜シルク・ロード〜
カンティクム・ノウム

小演明人 (尺八)、山本亜美 (箏)
小山豊 (津軽三味線)

エマニュエル・バルド (リーダー)

地中海地方から、トルコ、ペルシヤを経て日本へ。いにしへの「絹の道」で栄えた音楽文化へのトリビュート。

M 335 17:30-18:15 (45')

ticket 指定席¥2,600

3+

「中世の伝統歌 II」

アンサンブル・オブシテイエヌ
エマニュエル・ボナルド (リーダー)

人はいつの時代も故郷を思い歌う。民俗音楽や中世の美術を参照し再現された楽器は一見一聴の価値あり!

M 345 18:15-19:00 (45')

ticket S¥3,000 A¥2,500

3+

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
本名徹次 (指揮)

貴志康一:交響曲「仏陀」
(楽譜提供 学校法人甲南学園 貴志康一記念室)

1909年生まれの貴志は、スイスとドイツに留学した国際派。標題をもつ「仏陀」はベルリンで初演された。

M 355 17:00-17:45 (45')

ticket 指定席¥2,600

3+

エドウィン・クロスリー＝マーサー (br)
ヨアン・ロロー (p)

アイスラ:ハリウッド・ソングブックから
第二次大戦中に多くの亡命芸術家たちを受け入れたハリウッド。アイスラが同地でつづった「音楽の日記」。

M 365 17:00-17:45 (45')

ticket 指定席¥2,400

3+

オリヴィエ・シャルリエ (vi)
エマニュエル・シュトロッセ (p)

マルテヌー:「チェコ狂詩曲」
ストラヴィンスキー:「ティヴェルティメント」
シェーンベルク:幻想曲 op.47
クライスラー:ウィーン風狂想的幻想曲

ナチスを避けアメリカに移った作曲家たちと、アメリカに辿り着いた「世界人」ストラヴィンスキーの作品を。

17:00

18:00

M 316 21:15-22:15 (60')

ticket S¥3,000 A¥2,500 B¥1,500

6+ PASS

「ファイナルコンサート」

バヴェル・シュポルトツル (vi) & ジブシーウェイ (伝統ロマ音楽)、ルイス・フェルナンド・ベレス (p)、アレクサンドル・クニャーゼフ (vc)、エカテリンブルク・フィルハーモニー合唱団 (合唱)、ウラル・フィルハーモニー管弦楽団、ドミトリー・リス (指揮)

ラフマニノフ:バガニーニの主題による狂詩曲 op.43、カザルス:鳥の歌 (チェロと管弦楽版)、ドヴォルザーク:交響曲第9番 ホ短調 op.95「新世界より」から第4楽章、プロコフ:「ユダヤ人の生活」から祈り (チェロと管弦楽編)、伝承歌:「行け、モーゼよ (ドイツペント編)」、ヴェルティ:オペラ(ナブコ)から合唱「行け、わが思いよ、金色の翼に乗って、ほか

ラフマニノフ晩年のきらめくオラ、ドヴォルザークの感傷、プロコフの静謐な祈り……心癒さるファイナル!

M 326 19:30-20:15 (45')

ticket 指定席¥2,800

6+

バヴェル・シュポルトツル (vi)
ジブシー・ウェイ (伝統ロマ音楽)

プラムス・ハンガリー舞曲第1番 ハンガリアン・チャールダーシュ、シュポルトツル:ジブシー・ファイヤー、ピアソラ:アヴェ・マリア、ハチャトゥリアン:剣の舞、ロシアン・ファンタジー、モンティ:チャールダーシュ

流浪の民口マの音楽世界へ。チャールダーシュはハンガリーの舞曲で、多くのロマ楽団によって演奏されてきた。

M 336 19:15-20:00 (45')

ticket 指定席¥2,600

6+

吉田誠 (cl)、オリヴィエ・シャルリエ (vi)、アレクサンドラ・コソノヴァ (vi)、川本 嘉子 (va)、辻本玲 (vc)、マタン・ポラト (p)

プロコフィエフ:ペブライの主題による序曲 op.34
ドヴォルザーク:ピアノ五重奏曲 イ長調 op.81

「序曲」は、新生ソ連を発ったプロコフィエフがアメリカ滞在中にユダヤ人演奏家から依頼されて書いた。

M 346 20:15-21:00 (45')

ticket S¥3,000 A¥2,500

6+

サラ・マクエルレイヴィ (va)
ロイヤル・ノーザン・シンフォニア
ジュリアン・ラクリン (vi・va・指揮)

プリテン・ラクリム
モーツァルト:ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調 K.364

人生の多くを旅に費やしたモーツァルトは、パリで協奏交響曲の形式に魅せられ、帰郷後に大作K.364を書いた。

M 356 18:45-19:30 (45')

ticket 指定席¥2,600

6+

アプテル・ラーマン・エル＝バシヤ (p)

ショパン:バラード第1番 ト短調 op.23
ショパン:子守歌 変ニ長調 op.57
ショパン:幻想即興曲 嬰ハ短調 op.66
ショパン:舟歌 嬰へ長調 op.60

ラフマニノフ:前奏曲集から
パリの亡命者ショパン、ロシア革命後に祖国を離れたラフマニノフ――歴史の荒波にもまれた作曲家たち。

M 366 18:45-19:30 (45')

ticket 指定席¥2,400

6+

エマニュエル・ロスフェルター (g)
ソル:「魔笛の主題による変奏曲」から
メルツ:悲歌、幻想曲
テデスコ:悪魔的奇想曲
「バガニーニへのオマージュ」op.85
バガニーニ:24のカプリス、ラカンパネラ

渡米したユダヤ系イタリア人カステルヌオーヴォ＝テデスコや、諸国を旅したバガニーニを回顧するプログラム。

19:00

20:00

M 317 21:15-22:15 (60')

ticket S¥3,000 A¥2,500 B¥1,500

6+ PASS

「ソワレ・スカラルラッティ」
ピエール・アンタイ (チェンバロ)

ナポリ出身のスカラルラッティは、パルバラ女王のお抱え音楽家としてポルトガル、スペインで長らく暮らした。

M 327 21:15-22:00 (45')

ticket 指定席¥2,800

6+

児玉桃 (p)
広瀬悦子 (p)

ドヴォルザーク:スラヴ舞曲集から
ストラヴィンスキー:春の祭典 (2台ピアノ版)
ストラヴィンスキー:ヨーロッパ中の度肝を抜き、20世紀音楽史を塗り替えた「衝撃作」。

M 337 21:00-21:45 (45')

ticket 指定席¥2,600

6+

「ソワレ・スカラルラッティ」
ピエール・アンタイ (チェンバロ)

ナポリ出身のスカラルラッティは、パルバラ女王のお抱え音楽家としてポルトガル、スペインで長らく暮らした。

M 347 20:30-21:15 (45')

ticket 指定席¥2,600

6+

アンサンブル・メシアン (クラリネット四重奏)

メシアン:時の終わりのための四重奏曲
第二次大戦中、ドイツ軍の収容所への「移住」を強いられたメシアンが劣悪な環境で作曲した、祈りの音楽。

M 357 20:30-21:15 (45')

ticket 指定席¥2,400

6+

工藤重典 (fl)
フローラン・ポファール (p)

ドヴォルザーク: ヴァイオリン・ソナチネ 長調 op.100 (フルートとピアノ編)
パルトーク (アルマ編):ハンガリー農民組曲 (フルートとピアノ編)

パルトークによる故郷ハンガリーの民謡の編曲と、アメリカ滞在中のドヴォルザークが我が子に献呈した作品。

M 367 20:30-21:15 (45')

ticket 指定席¥2,400

6+

工藤重典 (fl)
フローラン・ポファール (p)

ドヴォルザーク: ヴァイオリン・ソナチネ 長調 op.100 (フルートとピアノ編)
パルトーク (アルマ編):ハンガリー農民組曲 (フルートとピアノ編)

パルトークによる故郷ハンガリーの民謡の編曲と、アメリカ滞在中のドヴォルザークが我が子に献呈した作品。

21:00

22:00